

地域の認知症支援推進活動団体と連携し、サービス向上や地域活性化への貢献を目指して、認知症バリアフリーの実践に向けた認知症サポーター養成講座と買い物ツアーの取組

### 取組の概要

- 従業員向けの認知症サポーター養成講座を定期的開催するほか、認知症当事者の外出の機会を創出し、買い物等を楽しんでいただくことを目的に、支援者による付き添いを行う買い物ツアーを毎月1回開催している。
- いずれも地域の認知症支援推進活動団体と連携し、実施している。



安心サポートショップでのお買い物

### 解決したい課題

- お客様の生活の場（地域社会）の存在があってこそ事業は成り立つものであり、地域社会が持続可能なものになるよう、サステナブル経営を推進する必要がある。

### 実現したい未来

- 高齢者を見守りながら、地域の一員として安心・安全なまちづくりを進めていきたい。
- 当事者も御家族も、従業員を含めた支援者も楽しいと思える共生社会に向けた取組を進化させていきたい。

## INTERVIEW

### 1. イトーヨーカ堂としての取組

株式会社イトーヨーカ堂は、令和4年に小売業で唯一、「認知症バリアフリー宣言」（日本認知症官民連携協議会主催の取組）を行い、以降、①人材の育成（令和12年度までに認知症サポーター養成講座全社員受講及びヘルプマークの理解促進）、②地域連携、③社内制度、④環境整備（商品・売り場・サービスを通じた環境整備）の4項目について、継続的に取り組んでいます。

### 2. 店舗の取組①：認知症サポーター養成講座

こうした社としての動きを受け、新百合ヶ丘店では、認知症支援推進活動団体のおれんじあさお様協力の下、定期的に認知症サポーター養成講座を開催しています。令和7年10月末時点の従業員の受講率は約80%でして、未受講者への対応を進めることで受講率100%達成を目指すとともに、高齢者を見守りながら、地域の一員として安全・安心なまちづくりを進めていきたいです。

### 3. 店舗の取組②：買い物ツアー「ロバの日」

また、環境整備に向けた取組として、令和5年8月を皮切りに、令和6年1月からは毎月第2水曜日に店舗内で買い物ツアーを実施しています。

これは、外出の機会が少ない認知症当事者の方に外出や買い物を楽しんでいただくことを目的に支援者が付き添うというもので、今では「ロバの日」という名称で定着しています。回を重ねるごとに参加者も増え、従業員も認知症サポーターキャラバンのマスコットである「ロバ隊長」のブローチを付けたり、店内にポップを出すなど、お迎えする体制を整えています。新百合ヶ丘店がある建物には他にも複数のテナントさんが入っていますが、他のテナントさんにも「ロバの日」の取組は認知いただいて、買い物の後には、同じ建物内にあるカフェでお茶会をされています。参加者の皆さんが楽しそうに買い物や談笑している風景を見ると、今後もこういった機会を提供し続けたいと思いますね。

### 4. 今後、進めていきたいこと

認知症の方も含めて、より多くのお客様に利用いただけるお店でありたいと考えています。そのためにも、より地域との関わりを深め、当事者御本人や御家族、従業員を含めた支援者も楽しいと思える共生社会に向けた取組を進化させていきたいです。

話し手【取材日：令和7年12月19日】

●小林 正一さん（イトーヨーカドー新百合ヶ丘店 副店長）